

1章 国内調査の概要

1. 調査の目的

- ①企業が採用時の要件として大卒者に求める能力を明らかにすること。
- ②企業の能力評価の実態と課題・問題点を明らかにすること。
- ③企業が大学教育に期待することを明らかにすること。

2. 調査の概要

(1)アンケート調査

①対象

企業の採用担当責任者

②調査時期

2008年9月

③サンプリング方法

株式会社帝国データバンクの企業データベースから、従業員数 300 人以上の企業 4,000 社を、従業員規模別・業界別にランダムに抽出した。

④サンプル数

577 社（回収率：14.4%）

⑤調査項目

ア. 大卒採用の実態

- 1) 大卒採用の実施状況
- 2) 採用実績とその評価
- 3) 採用実績の変化
- 4) 採用時に重視すること

イ. 企業が大卒者に求める能力

- 1) 採用時の要件として企業が重視する能力

ウ. 能力評価の実態と課題・問題点

- 1) 能力の評価方法
- 2) 入手している学生情報とその重視度
- 3) 能力把握の際の課題・問題点
- 4) 能力検査の課題・問題点

エ. 大学教育に対する意見

- 1) 大学教育に期待すること
- 2) 大学や企業のあり方に対する意見

(2)ヒアリング調査

①対象

企業の採用担当責任者

②調査時期

2008年10月

③サンプリング方法

従業員数1,000人以上の企業を社団法人日本経済団体連合会（経団連）の加盟企業から、従業員数999人以下の企業をアンケート回答企業のうちヒアリングを希望した企業より抽出した。抽出の際、業界等に偏りが生じないように注意した。

④サンプル数

13社。（1,000人以上の企業7社、999人以下の企業6社）

⑤調査項目

ア. 大卒採用の実態

- 1) 大卒採用人数のこれまでの変化と今後の見通し
- 2) 採用時に重視するのはポテンシャルか即戦力か

イ. 企業が大卒者に求める能力

- 1) 特に重視する能力とその理由

ウ. 能力評価の実態と課題・問題点

- 1) 能力評価の実態
- 2) 能力把握の際の課題・問題点
- 3) 能力検査の課題・問題点

エ. 大学教育に対する意見

- 1) 大学教育に期待すること

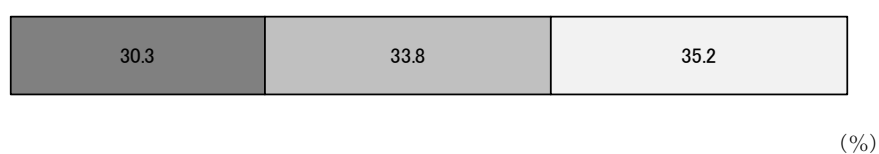
2) 大学と企業のあり方に対する意見

3. 基本属性

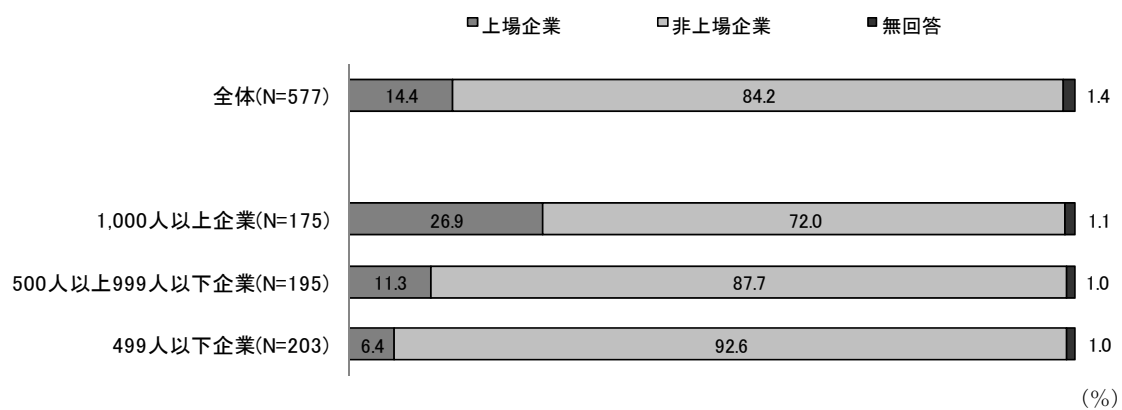
(1) アンケート調査

① 従業員規模

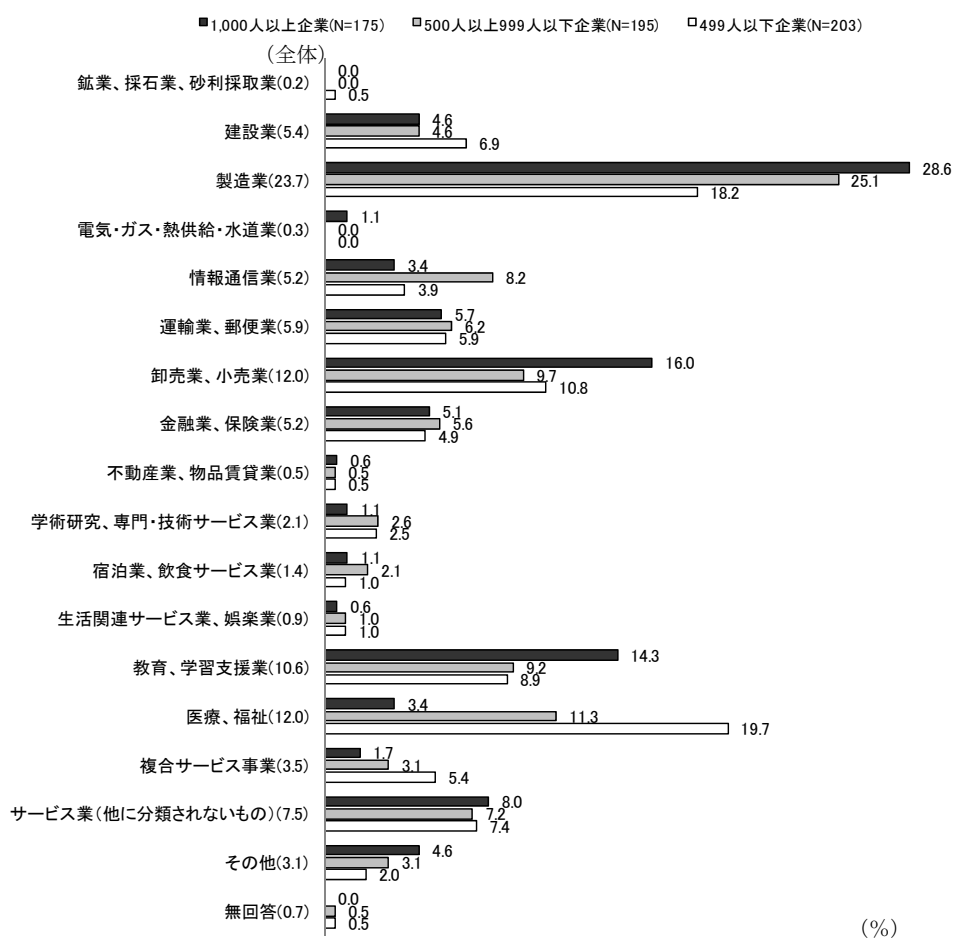
■ 1,000人以上企業(N=175) ■ 500人以上999人以下企業(N=195) ■ 499人以下企業(N=203)



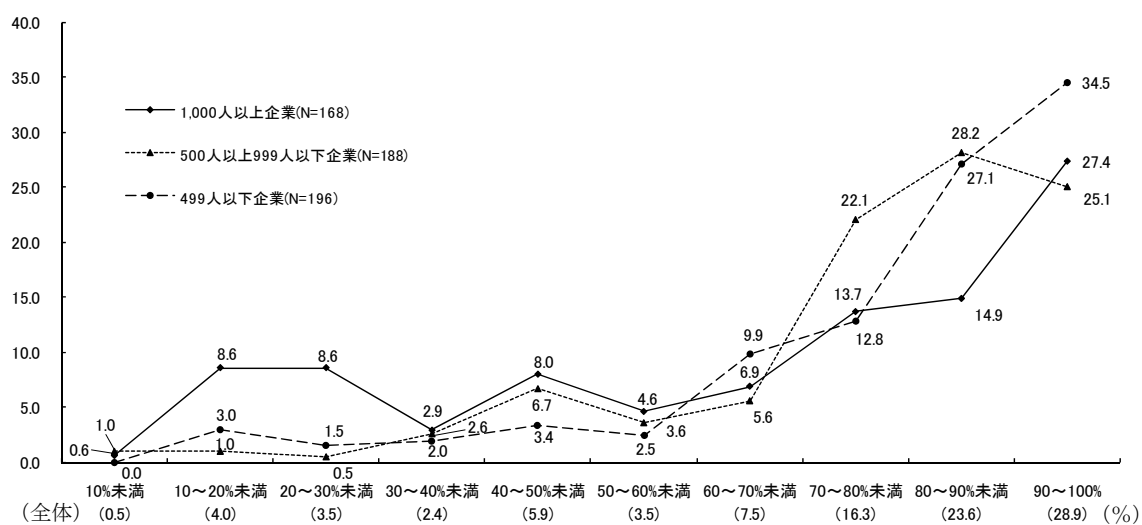
② 上場・非上場



③ 業界

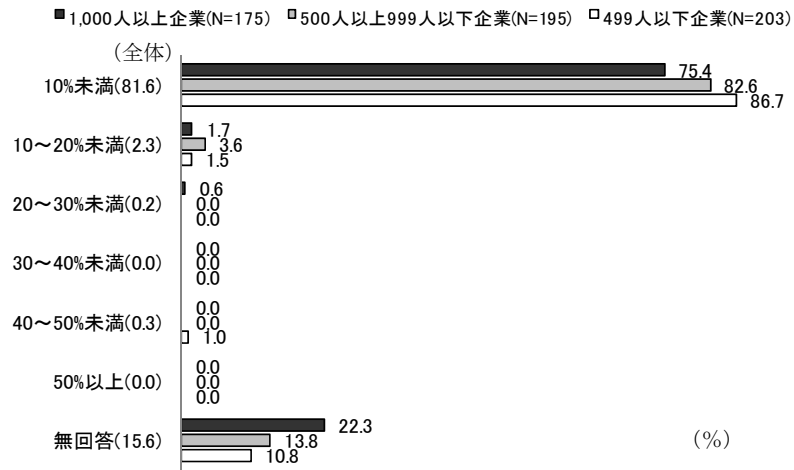


④ 正社員の割合

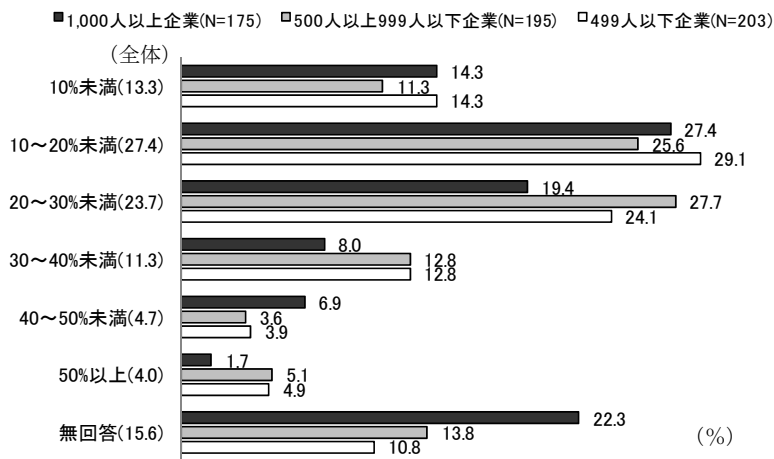


⑤年齢構成

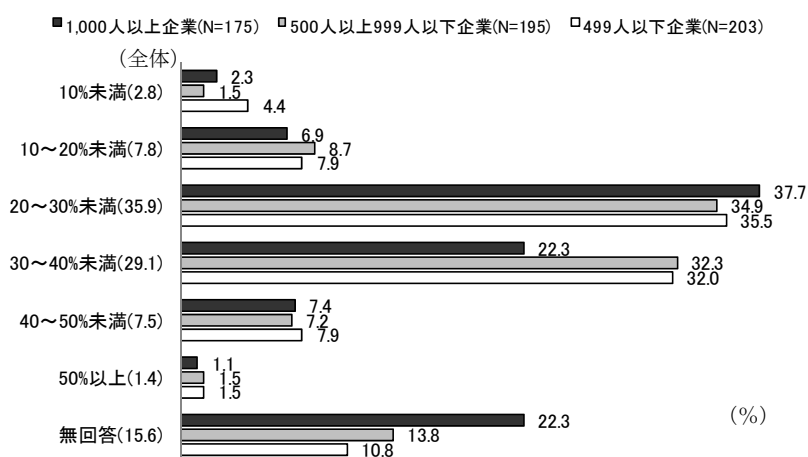
ア. 10代の割合



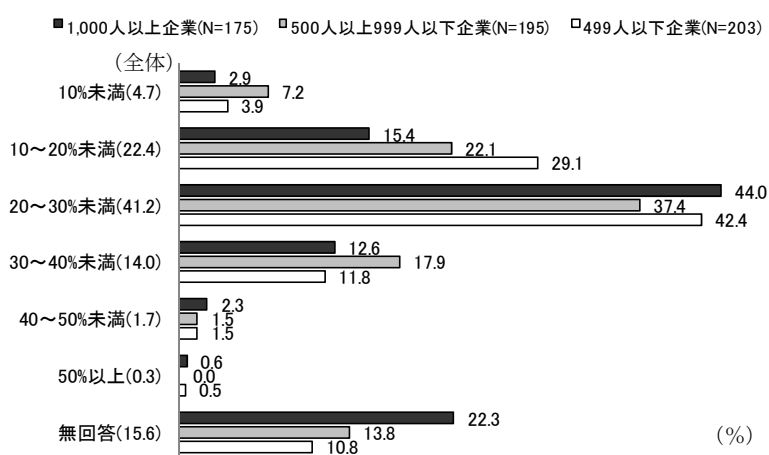
イ. 20代の割合



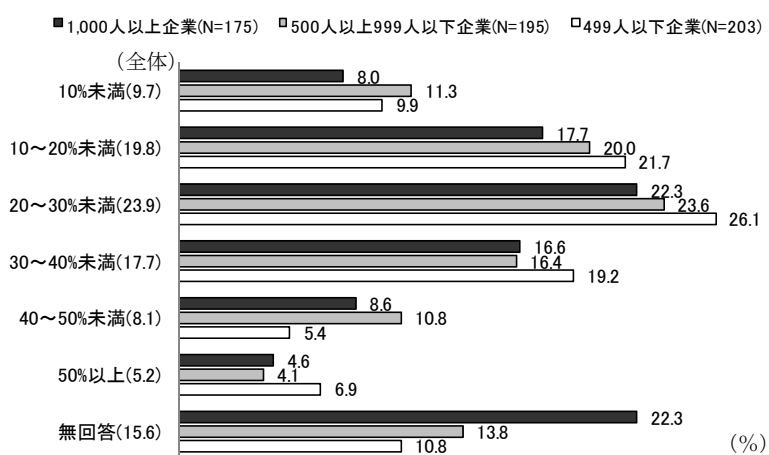
ウ. 30代の割合



エ. 40代の割合

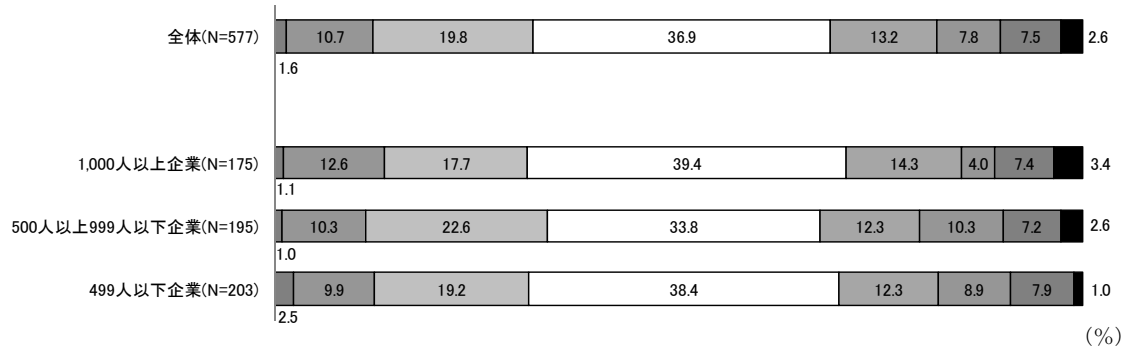


オ. 50代以上の割合



⑥評価・報酬制度の成果主義的な色彩の強さ

非常に強い
やや強い
どちらかといえば強い
どちらともいえない
どちらかといえば弱い
やや弱い
非常に弱い
無回答



(2)ヒアリング調査

①従業員規模、業界

		業界別		合計
		製造業	非製造業	
従業員規模	1,000人以上企業	4	3	7
	999人以下企業	1	5	6
合計		5	8	13

(社)

<注意>

・ 百分比 (%) は有効回収数のうち、その設問に該当する回答者を母数として算出し、小数第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、各々の項目の数値の和と合計を示す数値とが一致しない場合がある。

・ 業界別の分析では、有効回収数が30サンプル以上だった8業界についてのみ示している。その中には、サンプル数が十分大きいと言い切れない業界も含まれるため、解釈の際には注意が必要である。